患者・家族へのせん妄説明パンフレット

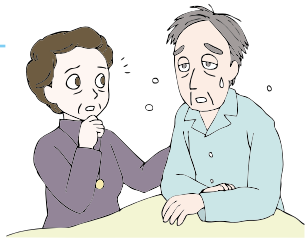
意識が混乱したとき　意識の混乱は，「せん妄」と呼ばれます

「せん妄」とはどのような症状ですか？

- 体調が悪い
- 手術の後
- 新しいくすりがからだに合わない

などの原因で一定の期間意識が混乱することです

- 50〜70%の方は，治療により回復します

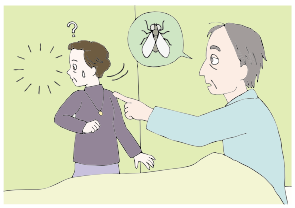


「せん妄」のときは，患者さんにこのような変化があります

（すべての方に見られるわけではありません）

□場所や時間の感覚が鈍くなる
- ・いる場所や，今日が何月何日かわかりにくい
- ・昼や夜の区別や時間が分かりにくい
- ・病院にいるか自宅にいるかわからない

□幻覚がみえる
- ・実際にはないものが見える
- ・「部屋の中に虫が見える」
- ・「誰かが部屋の外に立っている」



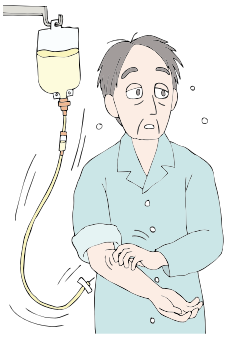
□昼と夜の感覚が鈍くなる
- ・眠る時間と起きる時間が不規則になる
- ・昼間眠って，夜に眠れない

□落ちつきがない
- ・何度もベッドから起き上がる
- ・くりかえし，どこかへ行こうとする
- ・転んでしまう

□話していることのつじつまが合わない
- ・過去のことを今のことのように話す
- ・現実とは違うことを話す

□怒りっぽくなり，時には荒っぽくなる

□からだについている治療のための管を「知らずに」抜いてしまう



治療の目標は

□せん妄状態がなくなる

□意識はやや混濁しているが，落ち着かない様子がやわらぎ，夜は眠れている

□ ＿＿＿＿＿＿＿＿

治療は，＿＿月＿＿日　3〜7日ごとに見直します

説明を受けた方

説明をした人　　月　　日

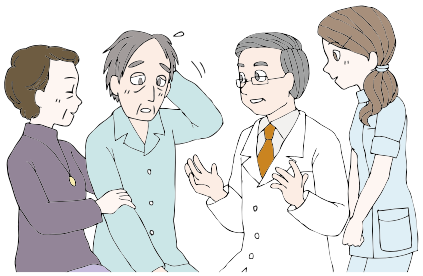
10
せん妄 1-1

こんな原因があります

□神経に作用するくすり
□高カルシウム血症（血液中のカルシウムが高くなる）
□脱水，腎臓の異常
□肝臓の異常（黄疸など）
□環境の変化（急に入院した，集中治療室に入ったなど）
□貧血
□電解質（ミネラル）の異常
□中枢神経によるもの（脳梗塞，腫瘍など）
□

こんな診察・検査をします

□身体診察
□血液検査
□頭部CT・MRI検査（必要なとき）
□



こんな治療をします

原因の治療をします
□原因となっているくすりを変更・中止します
□カルシウム値を下げる点滴をします
□点滴で脱水を治療します
□輸血をします
□

→ 原因が改善することで症状も改善することを待ちます

症状に対してはこのように対処します

□眠れないとき，落ち着かないときに頓服で神経が落ち着くおくすりを使います

→ □定期的に神経が落ち着くおくすりを使います
・眠れないとき，落ち着かないときは追加で頓服を使用してください

こんなおくすりを使います

■定期的に使用するくすり

■症状が強いときに使用するくすり

時間間隔で　　1日　　回まで

10
せん妄 1-2

こんなケア，工夫をします

患者さんが混乱しているとき，どのような工夫をされていますか？

●場所，時間の感覚を取り戻す
- ●時計やカレンダーを見えるところに置く
- ●日付や時間を何気なく会話の中に盛り込む
- ●なじみのある物，家族の写真を置く

●会話
- ●つじつまの合わない会話であっても，否定しないようにします
- ●会話を否定されると，かえって患者さんは苦痛を感じることがあります
- ●混乱した会話であっても，ご家族ならわかることもあります。内容を聞いてどのようなことを話しているか医師や看護師に教えてください
- ●ちぐはぐな会話をしていることを，「おかしい」と指摘することが，かえって患者さんの気持ち，誇りを傷つけることがあります

〈会話の例〉
患者さん「どろぼうがそこにいる……助けて！」
ご家族　「そうだね，つかまえたから，もう大丈夫だよ」

●環境を整える
- ●昼間は，日光を採り入れ明るくし，適度な運動や刺激（テレビ，会話，散歩など）をする
- ●夜は静かに，40～60Wのスポット照明を使用する

●安全
- ●刃物（ナイフ，ハサミ），ライター，ポットを患者さんの周りに置かない（一時期，別の場所に保管する）
- ●ベッドを低くする

●口の荒れ
- ●口の中を毎日確認します。口の渇きが強いことが多いので，こまめにお手入れをします
- ●荒れていれば，適切な処置をします

●ご家族に手伝っていただけること
患者さんの意識が混乱しているときは，ご家族の協力が大きな助けになります
- ●意識の混乱している間は，できるだけ付き添う
- ●患者さんの代わりに，ケアや治療のことを医師や看護師と話し合う

医師や看護師にはこうお伝えください

■せん妄について，分からないこと，心配していること，患者さんの対応で困っていることがあれば教えてください

■以下のことを教えて下さい

●夜眠れているか…□よく眠れる　□時々起きるがだいたい眠れる　□眠れない

●日中，話につじつまが合うか…□あう　□ 時々合わないがだいたい合う　□合わない

こんな心配はありませんか

Q 何か話しているが，よくわからない

A どのようなことを話そうとしているのか想像してみてください。本当にあった昔のこと，今気がかりになっていることやしておきたいこと，あるいは口の渇きやトイレに行きたいと伝えようとしていることもあります

時間や場所が分かりにくくなることは多いですが，ご家族のことがわからなくなることはめったにありません

つじつまが合わないときは，患者さんのいうことを否定せずに付き合い，安心できるような会話をしてください。「間違いを正す」ことは患者さんを傷つけることがあります

Q そばで何をしていいかわからない
話ができないことがつらい

A 普段通りに声をかけたり，静かに足をマッサージしたり，ただ部屋の中でご家族でお話されている声が聞こえたりするだけでも，患者さんはホッとされることが多いようです

Q 疲れてくたくたになってしまった

A まず，あなた自身が休めるような工夫を看護師と相談してください。他のご家族にも協力してもらいましょう。看護師もお手伝いします

日中，患者さんが休まれているときは，それに合わせて休んでください

こんなときは連絡してください

□落ち着きがない，興奮している状態でご家族が対応しきれないとき

□意識の状態が悪化して，呼びかけても反応がないとき

□

〔緩和ケアプログラムによる地域介入研究班．「緩和ケア普及のための地域プロジェクト：OPTIM study（厚生労働科学研究　がん対策のための戦略研究）」．痛み以外の症状についてのパンフレット：10 意識が混乱したとき（せん妄）．http://gankanwa.umin.jp/pdf/pamph10.pdf（2018 年 12 月閲覧）より引用〕